

屋外貯蔵所構造設備明細書

事業の概要	①
区画内面積	②
さく等の構造	③
地盤面の状況	④
架台の構造	⑤
消火設備	⑥
工事請負者名 住所氏名	⑦ 電話

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

## 【屋外貯蔵所構造設備明細書 記入要領】

- ① 「事業の概要」欄は、当該屋外貯蔵所を設置している事業所等の主たる事業概要を記入し、かっこ書きで貯蔵目的を記入する。（例）塗料の製造（原料及び製品の保管）／自動車整備業（エンジンオイルの保管）／大学（研究用薬品の保管）／産業廃棄物処理業（燃焼炉（一般取扱所）にて消費する燃料の貯蔵）等
- ② 「区画内面積」欄は、屋外貯蔵所の面積（さく等による区画内の面積）を記入する。  
また、かっこ書きで幅及び長さを記入する。  
（例）30 m<sup>2</sup>（5 m×6 m）等
- ③ 「さく等の構造」欄は、さく等の材質及び構造の概要を記入する。  
（例）・高さ1 mのステンレス製のポール（1 m間隔、10箇所）及びチェーンで区画する  
・周囲に高さ1 mの鉄製ネットフェンスを設ける等
- ④ 「地盤面の状況」欄は、地盤面の施工方法及び周囲に設ける設備等について記入する。  
（例）・周囲の地盤面より10cm 高い鉄筋コンクリート製舗装に勾配を設け、四方の小排水溝により油分離槽に流す構造 等
- ⑤ 「架台の構造」欄は、当該屋外貯蔵所に設置した架台の材質及び設置数を記入し、かっこ書きで寸法（縦（奥行）、横（幅）、高さ）及び段数を記入する。  
なお、架台が可動式ラック、自動式ラック等である場合はその概要について記入する。  
（例）鉄骨製（幅2,300 mm、奥行1,000 mm、高さ1,800 mm、4段）×2台 等
- ⑥ 「消火設備」欄は、危政令別表第5の消火設備の区分のうち、当該屋外貯蔵所に設置したもの及びその設置数を記入する。  
（例）第4種消火設備（粉末大型消火器50型）×1個／第5種消火設備（ABC粉末10型）×3個 等
- ⑦ 「工事請負者住所氏名」欄は、設置者等から工事を請け負った法人の名称、主たる事業所の所在地及び工事の責任者又は担当者の氏名、電話番号を記入する。